

# 小学校高学年のキャリア教育における計画実行能力を高める指導の工夫

—PDCA サイクルの機能を生かした「計画実行カード」の活用を通して—

キャリア教育班 片峰 健夫 (小学校教諭)

## 1. 主題設定の理由

### 本校児童の実態

- ・夢や目標に向けて努力することができない。
- ・自分に合った計画を立てることができない。

### 目指す児童像

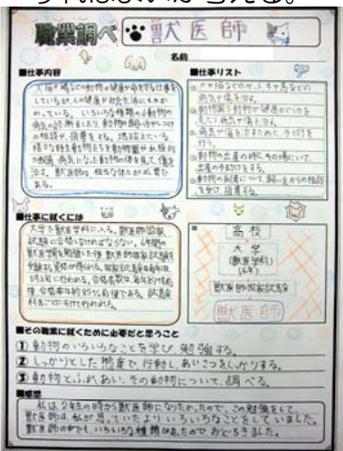
夢や目標に向けて計画的に努力し、それを実現できる児童になってほしい

PDCA サイクルの機能を生かした「計画実行カード」を活用することで、児童の計画実行能力を高めたい

## 2. 授業実践

### ①職業調べ

- 職業について調べ、世の中には多くの職業があることを知る。
- 自分がなりたい職業についてまとめる。
- その職業に就くためには、今どのようなことを努力すればよいか考える。



職業調べのまとめ

### ②計画作り

- 努力して成功を収めた人について学習し、目標をもって計画的に努力を重ねていたという共通点に気付く。
- 今までの自分たちの目標に向けた取組を振り返る。
- 自分の夢や目標の達成に向け、計画実行カードを用いて、毎日の計画を立てる。(PLAN)



計画実行カード

### ③計画の実践

- 計画実行カードに書いてある計画に沿って、目標達成へ取り組む。(DO)
- 毎日帰りの会で、取組の自己評価(5段階)を計画実行カードに記入する。
- 教師・保護者は計画実行カードをチェックし、賞賛や励まし、助言を行う。
- クラス全員の目標と取組の様子を、週ごとに学級通信で紹介する。(CHECK)
- 一週間ごとに自分の計画に向けた取組を振り返り、自己評価する。
- 「計画通りにできた」「自分のためになった」「自分のレベルに合っていた」「これからも継続していける」という観点で自分の計画を振り返り、改善点を明らかにする。(ACT)
- ACTで挙げられた改善点を生かし、より自分に合った計画を立てる。
- 上手く計画を立てられない児童は、教師と相談しながら、自分に合った計画を考える。(PLAN)

PDCA を続け、よりよい計画を立てる

### ④活動の振り返り

- 今までの活動を振り返り、計画を立てるよさについて話し合う。

#### ■子どもたちの意見

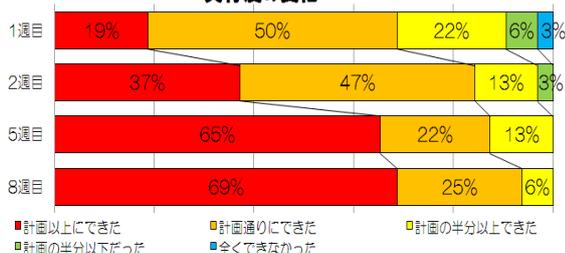
「行動が早くなった」「時間を上手に使うことができるようになった」「できなかった事ができるようになった」  
 「計画的に行動すると、目標にすぐにたどり着くことができる」「計画的に頑張れば、夢に近づくことができると思う」

## 3. 結果

自分に合った計画を立てられるようになり、計画に向け努力できるようになった。

PDCA 前の計画	PDCA 後の計画
野球の素振りを毎日100回する。	素振りを毎日100回。野球の練習がある日は50回する。
読書を30分する。	夕飯を食べたらすぐに読書30分する。
ピアノを毎日30分練習する。	テレビを見た分だけ、ピアノ練習する。(最低30分)
漢字練習を毎日3ページする。	漢字練習を毎日1ページする。

実行度の変化



## 4. 成果と課題

- 成果①** 計画実行カードに毎日の取り組みを自己評価することで、児童の意識が高まり、継続的、計画的に計画に取り組めるようになった。
- 成果②** 一週間の振り返りを生かして次の計画を立てることで、自分に適した計画を立てる力を養うことができた。
- 課題** 家庭や教師からの評価、友達との相互評価など児童が意欲と達成感を得られるような評価の方法を、さらに工夫する必要がある。